

【成年女子1500m決勝】狙い通りのレース展開で初優勝を決め、ガツボーストで喜ぶ高木美帆



高木 美帆

成年女子1500

高橋準V、松田3位 十勝勢が表彰台独占

初優勝

高木 美帆

絶妙のスタートで完勝 高木 美帆

成年女子1500m決勝は、高木美帆が最後の1周、狙い澄ましたタイミングで、ピタリと付き、ソボーズで完勝を喜んだ。強い向かい風が吹く悪コンディションで行われた決勝は、風による体力の消耗

アイスホッケー競技会第4回は1月31日、日光市の霜降スケートセンターなどで競技を行った。スピードスケートは1500mが決勝を行い、成年女子は高木美帆（日体大1年・帯南商高）が2分7秒17で初優勝を果たした。高橋菜那（山梨学院大2年・白樺学園高）は2分11秒84で準優勝、松田有幾（岐阜・十六銀行）は2分12秒26で3位入賞し、十勝勢が表彰台を独占した。アイスホッケー少年は準々決勝を行った。インターハイを制した白樺学園高の6選手が入る北海道が8-1で青森に快勝した。（小寺泰介）

成年女子1500mで優勝した高木美帆（中央）と準優勝の高橋菜那（左）、3位の松田有幾（右）。十勝勢が表彰台を独占した



強豪抑え自信深める 高橋

成年女子1500m決勝は、残り2周

で責任先頭を

完了。最後の

1周で猛然と

ラストスパートを仕掛けた

高木美帆らの

背中に必死で

食らい付きゴ

ールした。

今季はユニ

バーシアード

冬季大会（昨

年12月・イタ

リア）団体追

い抜きで銀メ

ダルを獲得。

ソチ五輪代表

選考会 年明けには日本学

生水上選手権など過密日程

をこなし、疲労を抜く暇も

ないほどだったが、「国

内

で常に結果を出していなけ

れば、上で戦うのは現実的

に厳しい」と初めて本気で

世界を意識した。

来季はW杯参戦も見据

え、「結果を出す」と意欲

がみなき。ジャパンカップ

最終戦（14・16・長野）

でカルガリー（カナダ）で

のレース出場権をつかむ覚

悟。「高速リンクで滑る機

会がほしい」とステップア

ップを考えている。

高橋は、シングルトラックのレースで、前へ行こうと

から積極的に前へ行こうと

思つたが、アウトスタート

で行けなかつた。風が強か

つたので、結果的には体力

を温存できず良かつた。ソ

チ五輪代表選考会で負けて

から喪失があり、練習に

1も任されているので、良

かった。リレーのアンカ

ーも任せられていていた

が、足が思つた以上に疲れ

ていて最終周に狙つていた

責任先頭を取ることができ

なかつた。リレーのアンカ

ーも任せられていていた

が、足が思つた以上に疲れ

ていて最終周に狙つていた

責任先頭を取ることができ

なかつた。リレーのアンカ